



吉川松伏少年消防クラブ 7月活動報告



令和3年7月18日（日）、吉川消防署において、感染症対策を講じた上で、7月活動を実施しました。新型コロナウイルス感染症の拡大により、令和2年度は一度も活動が行えず、今回は約1年ぶりの活動となりました。梅雨も明け、気温が上昇した中での初めての活動であったため、消防本部の屋内において、熱中症対策を行いつつ、訓練礼式とロープ結索を実施しました。クラブ員のみなさんは、初めての活動で緊張していましたが、一生懸命活動に取り組みました。



消防は危険な場所で活動するからこそ、厳正な規律の下、迅速かつ的確な、秩序ある集団行動が必要となります。消防訓練礼式は、全国16万6千人の消防職員と81万8千人の消防団員が統一された認識の下で集団行動を行えるよう基準が定められています。一見すると地味に感じますが、全員が心を一つにして活動するためには、とても大切な訓練です。